



家庭学習の手引き

2017年 4月

有磯小学校

1. 家庭学習を通して、親子のコミュニケーションをはかりましょう

- ・「今、どんな勉強しているの、教えて」と、家族の皆様が家庭学習を通して子どもに関わっていきこうとすることが、子どもの学習意欲を高めます。
- ・親（家族）が関わることで、わが子の筆箱の中身が揃っているかもわかりますし、明日の授業の準備も確認できます。
- ・学用品をちゃんとそろえることなど、学習の態勢を整えることも学力のうち（見えない学力）です。

2. 家庭学習では、「くりかえし」「積み重ね」が大事！

- ・人は学習したことの70%を翌日に忘れてしまうといわれています。学校で学習したことを、家庭でくりかえすことで定着が図られます。自信にもつながります。

3. ほめること、認めること、励ますことが子どもの学習のエネルギー

保護者の関わりかたについて次のようにまとめられます。

	低学年	中学年	高学年
ポイント！	手をかけ 目をかけよう いっしょにして、 やる気をおこす	声をかけ 目をかけよう 認めて、ほめて、 自信をつける	自立を願いながらも 心は離さない 見守って 伸ばす
子どもの学習に関心を！	「家でも勉強するんだ」という習慣をつけましょう	頑張りを見逃さず、励ましの言葉を！	計画を立てて、自力で学習を進めるよう見守りましょう
学習環境を整えよう！	学習机やテーブルなど「いつも決まった場所」を作りましょう	学習を始める時間をいっしょに決めましょう	自分にあった生活リズムをつくり、学習に取り組む時間帯を決めましょう
家庭と学校との協力を！	学校からの連絡や、お便りをいっしょに確かめましょう	学校からのお便りを家族に渡す習慣をつけましょう	思春期を迎えます子どもの話をよく聞いて、学校と連絡を取り合いましょう
* 毎日連絡帳にサインをお願いします			

4. 「早寝」「早起き」「朝ご飯」の取り組みを続けましょう

基本的な生活習慣の確立が子どもの生活リズムをつくります。学校生活にやる気を起こし、体力も向上し、脳も活性化され、学力の向上につながります。

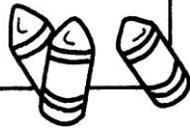
学習時間のめやす

(学年×20分を目標に)

- 低学年 30分+α
- 中学年 60分+α
- 高学年 90分+α

学習の約束

- 1 テレビは消そう
- 2 始めたら、立ち歩かない
- 3 机の上をきれいにしよう
- 4 よい姿勢でしよう



生活の中で見えない学力をつけよう

- 読書は「見えない学力」を高めます
- 小学生用の辞典を身近に置いておきましょう
- 石川県地図・日本地図・世界地図を身近に置いておきましょう
- ニュース番組を見て親子で話し合しましょう
- 手伝いは考える力を育てます
積極的に手伝いをさせましょう

自学で予習もしよう

- 予習をして授業に臨むと、学習も分かりやすく、授業も楽しくなります。

習慣づけの1年生

- ①教科書の文章を音読できる
- ②助詞(て・に・を・は)を適切に使い分け、短い文が書ける
- ③80字の配当漢字の全てが読め、9割の漢字が書ける
- ④繰り上がり・繰り下がりのある20までのたし算・ひき算ができる

各学年で身につけたい力



習慣が定着し始める2年生

- ①順序よくお話をすることができる
- ②九九がすらすら言える
- ③160字の配当漢字の全てが読め、9割の漢字が書ける
- ④たし算・ひき算の筆算ができる
- ⑤ものさしで直線を正しく引ける
- ⑥時計を正しく読むことができる

分岐点を乗り越える3年生

- ①国語辞典を使って意味調べができる
- ②主語と述語の意味が分かる
- ③200字の配当漢字の全てが読め、9割の漢字が書ける
- ④かけ算の筆算ができる
- ⑤わり算ができる
- ⑥重さやかさを量ることができる
- ⑦簡単な地図記号や方位がわかる

学習に意欲が出てくる4年生

- ①漢字辞典を使って漢字を調べることができる
- ②ローマ字を適切に読み書きし、パソコンで入力できる
- ③200字の配当漢字の全てが読め、9割の漢字が書ける
- ④指示語や接続語を使って文を書くことができる
- ⑤わり算の筆算ができる
- ⑥コンパスや分度器を正しく使うことができる
- ⑦地図を使って見知らぬ場所や地名を調べることができる
- ⑧月と星の観察ができる

学習の達成感を味わう5年生

- ①敬語を適切に使うことができる
- ②少数のかけ算・わり算ができる
- ③185字の配当漢字の全てが読め、9割の漢字が書ける
- ④分母が同じ分数のたし算・ひき算ができる
- ⑤割合・百分率を使った問題が解ける
- ⑥47都道府県の位置がわかり、正しく書ける
- ⑦新聞を通して社会の出来事に興味関心をもつ

進学に希望を持たせる6年生

- ①親しみやすい古文や漢文に触れ、音読できる
- ②小学校で習得すべき漢字の全てが読め、9割の漢字が書ける(6年生の配当漢字は181字)
- ③分数のかけ算・わり算ができる
- ④歴史上の事件や人物についてだいたい説明できる
- ⑤世界の主な国々の位置を正しく示せる
- ⑥理科の実験道具の正しい使い方を知っている
- ⑦新聞の社会の出来事に感想をもつ